



●居室

房、浴室暖房乾燥機を標準装備、収納スペースも十分です。

一般的なホームや施設では望めない、ゆったりとした居室スペースが確保されています。夫婦、親子、兄弟・姉妹といったふたり入居もおすすです。特に、ご夫婦の場合、ふたりで入居したいけれど一方が要介護で、もう一方が元気な場合、介護付きホームへは入居できないため、そういった方々にとってここはとてうれしい存在。今までのふたりの生活リズムそのままの暮らしが実現できるというわけです。

「徘徊癖のある方にも根気よくお付き合いして、精神的に安定していただけるよう努力しています。日頃から心がけていることといえば、気遣いのある声かけでしょうか。ご入居者はみなさん人生の先輩ですから、その方の生活歴なども考えながら、お世話させていただいています」(生活相談員・富田憲一さん)

暮らしをいきいきさせる お楽しみの形も多彩。

個人の生活を尊重することと同時に、入居者間のふれあいや積極的に生きる気持ち、育むことを重視する「緑陽館」では、クラブ活動やカラオケ、地元ボランティアによる民謡の会やコンサートをはじめ、地域の方と合同で祭りを開催するなどのお楽しみ会も頻繁に行な

ための一時利用など、利用者の立場に立った利用ができるよう配慮されています。

一般居室、介護居室にかかわらず、午前と午後にはスタッフが入居者の部屋を回り、ホテルのルームサービスのようにお好みのお茶やジュースをサービス。この時にさつとお部屋の状態を見ることで、いつもと違う気配なども察知できるそうです。



●レストラン



●リハビリルーム



●大浴場

～2人部屋～

サービス付き高齢者向け住宅 緑陽館

生活相談員
(社会福祉士)

富田 憲一
Kenichi Tomita

株式会社 リブネット
〒679-0205 兵庫県加東市北野 55-2
TEL 0795-45-9070
FAX 0795-45-9071

兵庫県加東市北野55番地2
0120-1151241



サービス付き高齢者向け住宅

000 緑陽館

兵庫県加東市北野

ふたり入居にうれしい余裕の住まい。 医療・介護の連携で 暮らしを最適化。



敷地内に老健、診療所が
手厚い人員体制も魅力。

兵庫県加東市は、平成18年に社町、滝野町、東条町が合併して生まれた新しい街。市内に中国自動車道ひょうご東条ICと滝野社ICを有し、阪神地域と直結、神戸・三宮へ車で約50分、大阪へ約60分の場所に位置しています。その加東市にある「緑陽館」は滝野社ICから約2分、周辺は田畑が広がる



●外観

田園地帯で、建物のすぐ西側を加古川が流れるのどかな環境です。車でのアクセスに恵まれていることから、入居者は西脇市、小野市、加西市など広範囲にわたり、開設以来5年を経て近隣地域はもちろん周辺都市にも広く知られる存在になりました。

平成20年にオープンした同館は、敷地内に診療所や老健を併設。さらに建物内には居宅介護支援事業所、訪問介護、訪問介護ステーションもあることから、地域の高齢者医療・介護の中心的役割を果たしています。

運営母体は春日野会病院グループで「医師が考えたシニアハウス」として、健康な方から要支援、要介護の方、医療依存の高い方まで、さまざまな身体状況の方が入居されています。

「母体が病院で老健も隣にあることから、その受け皿としても機能し介護が

必要な方の入居が多いですね。介護や看護の人員体制は手厚いですし、生活相談員、機能訓練指導員、ケアマネージャーなどを揃えているサ高住は少ないのではないのでしょうか」(総支配人・藤城秀司さん)



●ロビー



●中庭

スムーズな医療連携で 日常も緊急時も安心。

必要なのは、月2回の訪問診療や普段の健康管理など、入居者の生活の質を高めるサポートもきめ細やかに実施されています。認知症が進めば、センサーマットを活用して安全対策を強化したり、タミナールから看取りまでしっかりケア。敷地内の老健やデイケアとも連携しながら、入居者にとって最適な生活環境を提案し、暮らしの安心感を高めています。

自立の方から医療依存度の高い方まで幅広く受け入れ、日中は看護士が常駐、居室に備え付けられている緊急コールやペンダントコールで連絡すれば迅速に対応してくれます。また、夜間、緊急時もオンコール体制で医師、看護師が24時間、365日対応。そして何よりも、救急搬送先を確保している点が強みで、安心感を与えてくれる大きな要因です。

必要なのは、月2回の訪問診療や普段の健康管理など、入居者の生活の質を高めるサポートもきめ細やかに実施されています。認知症が進めば、センサーマットを活用して安全対策を強化したり、タミナールから看取りまでしっかりケア。敷地内の老健やデイケアとも連携しながら、入居者にとって最適な生活環境を提案し、暮らしの安心感を高めています。

生活相談員・富田 憲一さん(左)
総支配人・藤城 秀司さん(中)
施設管理者・森田 祐美子さん(右)

医療と介護の連携もスムーズで、月2回の訪問診療や普段の健康管理など、入居者の生活の質を高めるサポートもきめ細やかに実施されています。認知症が進めば、センサーマットを活用して安全対策を強化したり、タミナールから看取りまでしっかりケア。敷地内の老健やデイケアとも連携しながら、入居者にとって最適な生活環境を提案し、暮らしの安心感を高めています。

